

推薦作品No.	タイトル	推薦作品種別	作者名等	出版社	作品ジャンル名	推薦者権限	推薦者名	推薦者所属	推薦度	推薦コメント	当館での所蔵
1	藍から青へ 自然の産物と手工芸	図書	石田紀佳	建築資料研究社	自然科学 / 自然科学	教員	古賀 くらら	芸術 (日本画)	4	自然の産物を、植物、動物、鉱物の章に分け、ビジュアルと平易な文章とで紹介する。また、工程の章ではそれらの製作工程が解説される。自然からの恵みや、昔は当たり前のように身近にあったものなど、手工芸に興味のある方だけではなく、モノづくりに携わる多くの方の入門的書籍として推薦できる。工芸にとどまらず、自然の産物が多用される日本絵画や建築などに共通する素材も多いため、本書が芸術活動やモノづくりに関する素材への興味への一助になることを期待する。 (入学前知トラ (日本画) 推薦)	有り
2	木に学べ：法隆寺・薬師寺の美	図書	西岡常一著	小学館	技術、工学 / 建築学	教員	今村 雅弘	芸術 (日本画)	1	本の話し手西岡常一はその法隆寺を解体修理した宮大工である。1300年間建ち続ける木造建築、飛鳥の工人たちの手業をじかに触り木の力を知る大工である。ひたすら目の前の木と対話し続け、自然の摂理に尊崇の念を抱き手業を極めた人の言葉は、もの造りの基本を思い起こさせ、地道に積み上げていく時間の大切さを伝えてくる。短い話であるが大事なことを教えてくれる本だと思う。 (入学前知トラ (日本画) 推薦)	有り
3	紫の雨	図書	福井爽人	三月書房	芸術、美術 / 芸術、美術	教員	前田 力	芸術 (日本画)	4	日本画家福井爽人が書くはじめての随想集。作家が何を感じ何を想い作品に打ち込んでいるのか。☒ 作家の目線で書かれた文集。☒ ☒ (入学前知トラ (日本画) 推薦)	有り
4	月と六ペンス	図書	モーム作；行方昭夫訳	岩波書店	文学 / 英米文学	教員	荒木 亨子	芸術 (日本画)	5	入学前知トラ (日本画) の推薦図書です。	有り
5	西洋美術通史に関する本	図書	*	*	芸術、美術 / 芸術、美術	教員	森永 昌司	芸術 (油絵)	5	入学前知トラ (油絵) の課題において、西洋美術史の通史及びその解説を主旨とした図書のコメント、感想等を。	色々有り
6	西洋美術通史に関する本	図書	*	*	芸術、美術 / 芸術、美術	教員	石黒 賢一郎	芸術 (油絵)	5	入学前知トラ (油絵) の課題において、西洋美術史の通史及びその解説を主旨とした図書のコメント、感想等を述べよ。	色々有り
7	西洋美術通史に関する本	図書	*	*	芸術、美術 / 芸術、美術	教員	釣谷 幸輝	芸術 (油絵)	5	入学前知トラ (油絵) の課題において、西洋美術史の通史及びその解説を主旨とした図書のコメント、感想等☒を報告せよ。	色々有り
8	西洋美術通史に関する本	図書	*	*	芸術、美術 / 芸術、美術	教員	志水 兎王	芸術 (油絵)	5	入学前知トラ (油絵) の課題において、西洋美術史の通史及びその解説を主旨とした図書のコメント、感想を述べよ。	色々有り
9	西洋美術通史に関する本	図書	*	*	芸術、美術 / 芸術、美術	教員	原 崇浩	芸術 (油絵)	5	入学前知トラ (油絵) の課題において、西洋美術史の通史及びその解説を主旨とした図書の、コメント、感想等を述べよ。	色々有り
10	西洋美術通史に関する本	図書	*	*	芸術、美術 / 芸術、美術	教員	菅 亮平	芸術 (油絵)	5	入学前知トラ (油絵) の課題において、西洋美術史の通史及びその解説を主旨とした図書の感想、コメントを述べよ。	色々有り
11	今日の芸術：時代を創造するものは誰か	図書	岡本太郎著	光文社	芸術、美術 / 芸術、美術	教員	田中 圭介	芸術 (彫刻)	5	芸術家、岡本太郎 (1911-1996) による美術評論書。「芸術は爆発だ」という発言が有名である著者が、創作者としての視点から広範な知識を駆使し論理的に自身の芸術論を展開した名著。1954年に刊行されベストセラーに。1999年に横尾忠則氏の序文と赤瀬川源平氏の解説が追加され復刻。「今日の芸術は、うまくあってはならない、きれいであってはならない、ここよくあってはならない」を芸術の根本条件とした著者の主張は当時から現在に至るまで多くの人々に影響を与え続けている。☒ ☒ (入学前知トラ (彫刻) に推薦します。)	有り

12	陰翳礼讃	図書	谷崎潤一郎	中央公論社	文学 / 文学	教員	ウォーゼン チャー	芸術 (彫刻)	5	More of an essay than a full-fledged book, In Praise of Shadows (Eng. title) is Tanizaki Junichiro's song to darkness. As he pits light vs. shadow, shiny vs. tarnished, West vs. East, and clean vs. grimy, he always comes out on the side of the second over the first. Written before WWII, the book describes the vanishing of many things Japanese that are now, almost one hundred years later, mostly gone: ohaguro, cedar boughs in dark toilets, women bundled into layers of kimono. Readers will have to decide how they feel about his opinions on skin color and the female sex, but much of what he writes captures the essence of Japanese visual aesthetics, and its celebration of the unseen and the hidden.☑ (入学前知トラ (彫刻) に推薦します。)	有り
13	生物と無生物のあいだ	図書	福岡伸一	講談社	自然科学 / 生物学, 一般生物学	教員	伊東 敏光	芸術 (彫刻)	5	「生物と無生物の違いは何か? そもそも生命とは何か?」という問いに対して、DNAや原子、分子、タンパク質、細胞の成り立ちなどの研究の足跡を追って、また著者自身の研究を通して、生命とは何かを探っていく様子が描かれている。☑ 優れた科学者が書いた、サイエンスと詩的な感性が結びついた文章は、芸術を志すものにとっても知的な刺激とインスピレーションを与えてくれます。☑ (入学前知トラ (彫刻) に推薦します。)	有り
14	ガウディの伝言	図書	外尾悦郎	光文社	芸術, 美術 / 芸術, 美術	教員	前川 義春	芸術 (彫刻)	5	天才建築家、アントニオ・ガウディに関する本は色々出版されていますが、先ず最初に読む本として親しみやすく、興味深い内容となっている一冊です。☑ その最も大きい理由は、著者である外尾悦郎氏自身がサクラダファミリアの制作に直接携わる彫刻家であるためでしょう。京都市立芸術大学彫刻科を卒業後、現在まで30年以上に渡り専任彫刻家として働き続けている氏が、制作者の目を通して史実に忠実にガウディを語っています。☑ 天才としての苦悩、悲恋、ライバル、そしてパトロンでもある大富豪グエルとはともに夢を託しあう信頼関係で結ばれる。最後はキリスト教の精神が見ようとした崇高な世界に導かれながらも、非業の死を遂げる。学生時代に読めば他人事とは思えない最高に面白い小説の様な本当の物語です。現在まで130年以上も続けられている建設に、今では世界中から日々一万人以上の人々が訪れ、その巨大で異様な造形が世界の人々に夢と希望を与えています。☑ (入学前知トラ (彫刻) に推薦します。)	有り
15	茶の本	図書	岡倉覚三(天心)著、村岡博訳	岩波書店	芸術, 美術 / 芸術, 美術	教員	倉内 啓	芸術 (デザイン)	5	学生時代に先輩の勧めで読んだ本が、『陰翳礼讃』である。とうとう私自身、昭和8年谷崎潤一郎がそれを語った年齢に達してしまった。今日の若い人たちにこの本はどのような光を投げかけるのだろうか? 「闇と光」についての評論は、光源がLEDの時代を迎えた現代においてもなお日本独自の美意識を呼び覚ましてくれるはずだ。谷崎の理想とする日本家屋や茶室の設えに興味を覚えたら、岡倉覚三(天心)『茶の本』を薦めたい。天心の美に対する鋭い感覚や茶道の原点が道家思想と禅に由来することを知ることができる。そして、禅や道家思想の祖“老子”のことが気になってきたら、加島祥造の『タオ;老子』を是非手に取ってほしい。これは英米文学者の作者が漢文からではなく、英訳された「老子」を底本にした口語訳詩であり、とても読みやすくイメージがどんどん膨らんでいく。加島はあとがきで、「先入観なしで老子の言葉に接し、自分の中に共感するものがあるかどうか、験(ため)してほしい…」と寄せているが、我々が今を生きることの知恵にあふれた言葉に勇気が湧いてくる。(登録日 2009年12月3日) ☑ (入学前知トラ (デザイン工芸) 推薦図書) ☑	有り
16	タオ:老子	図書	老子[原著]、加島祥造[訳]	筑摩書房	哲学 / 哲学	教員	倉内 啓	芸術 (デザイン)	5	学生時代に先輩の勧めで読んだ本が、『陰翳礼讃』である。とうとう私自身、昭和8年谷崎潤一郎がそれを語った年齢に達してしまった。今日の若い人たちにこの本はどのような光を投げかけるのだろうか? 「闇と光」についての評論は、光源がLEDの時代を迎えた現代においてもなお日本独自の美意識を呼び覚ましてくれるはずだ。谷崎の理想とする日本家屋や茶室の設えに興味を覚えたら、岡倉覚三(天心)『茶の本』を薦めたい。天心の美に対する鋭い感覚や茶道の原点が道家思想と禅に由来することを知ることができる。そして、禅や道家思想の祖“老子”のことが気になってきたら、加島祥造の『タオ;老子』を是非手に取ってほしい。これは英米文学者の作者が漢文からではなく、英訳された「老子」を底本にした口語訳詩であり、とても読みやすくイメージがどんどん膨らんでいく。加島はあとがきで、「先入観なしで老子の言葉に接し、自分の中に共感するものがあるかどうか、験(ため)してほしい…」と寄せているが、我々が今を生きることの知恵にあふれた言葉に勇気が湧いてくる。☑登録日 2009年12月3日) ☑ ☑入学前知トラ (デザイン工芸) 推薦図書) ☑	有り

17	陰翳礼讃	図書	谷崎潤一郎	中央公論社	文学 / 文学	教員	倉内 啓	芸術 (デザイン)	5	<p>云物子部 倉内啓</p> <p>☑</p> <p>学生時代に先輩の勧めで読んだ本が、『陰翳礼讃』である。とうとう私自身、昭和8年谷崎潤一郎がそれを語った年齢に達してしまった。今日の若い人たちにこの本はどのような光を投げかけるのだろうか? 「闇と光」についての評論は、光源がLEDの時代を迎えた現代においてもなお日本独自の美意識を呼び覚ましてくれるはずだ。谷崎の理想とする日本家屋や茶室の設えに興味を覚えたら、岡倉覚三(天心)『茶の本』を薦めたい。天心の美に対する鋭い感覚や茶道の原点が道家思想と禅に由来することを知ることができる。そして、禅や道家思想の祖“老子”のことが気になってきたら、加島祥造の『タオ;老子』を是非手に取ってほしい。これは英米文学者の作者が漢文からではなく、英訳された「老子」を底本にした口語訳詩であり、とても読みやすくイメージがどんどん膨らんでいく。加島はあとがきで、「先入観なしで老子の言葉に接し、自分の中に共感するものがあるかどうか、験(ため)してほしい…」と寄せているが、我々が今を生きることの知恵にあふれた言葉に勇気が湧いてくる。(登録日2009年12月3日) ☑</p> <p>(入学前知トラ (デザイン工芸) 推薦図書) ☑</p> <p>☑</p> <p>-----☑</p> <p>元芸術学部 加治屋健司 ☑</p> <p>☑</p> <p>日常の生活のなかで何かを美しいと思う瞬間は、誰にもあるだろう。しかし、本書の谷崎潤一郎ほど、多様な事物に向き合い、その美しさの委曲を繊細に捉えようとする人は多くはない。目に入っているにもかかわらず見えていない世界の細部を、目を凝らしてもっと見てみたいという人に勧めたい。よく言われているように、日本の伝統的な美しさについて書かれた文章ではあるが、その主張を再確認するために読むのではなく、むしろ、谷崎のいた時代の限界を超えて、現代の美しさに対する自らの感受性を研ぎ澄ますためにこそ読んでほしい。☑</p> <p>(登録日 2013年9月27日) ☑</p>	有り
18	龍宮：句集	図書	照井翠	角川書店	文学 / 文学	教員	倉内 啓	芸術 (デザイン)	5	<p>私は自身の創作において、詩や俳句から多くのイメージーションを与えてもらう。昨年、推薦図書としてポーランドの女性詩人ビィスワヴァ・シンボルスカの詩集『終わり始まり』をとりあげたが、今回は俳句集を紹介したい。照井翠さんの『龍宮』である。句集の作者は私と同年代の高校の教師で、釜石市で東日本大震災に遭い被災し、避難生活の中で正気を保つべく俳句を作った。それは記録や表現ではなく回復の営みだったのだと言われている。私はいままでこの悲しみを真正面から対峙する事に躊躇し、どちらかと言うと避けて来た。いい訳かも知れないが、これまで見て来た数々のメディア映像があまりにも痛ましく、現実的なものとしては、とうてい受け入れる事が出来なかったからだ。しかしながら、この句集に遭遇し確かなリアリティーを突きつけられた。この哀しき世界(げんじつ)に何らかの意志を示す事が、今を生かされている表現者としての責務だと感じさせられた。☑</p> <p>(入学前知トラ (デザイン工芸) 推薦)</p>	有り
19	茶の本	図書	岡倉覚三(天心)著、村岡博訳	岩波書店	芸術、美術 / 芸術、美術	教員	青木 伸介	芸術 (デザイン)	5	<p>三合ゼミ基礎演習推薦図書☑</p> <p>(入学前知トラ (デザイン工芸) 推薦図書)</p>	有り

20	アンジュール：ある犬の物語	図書	ガブリエル・バンサン作	ブックローン出版	その他 / その他	教員	中村 圭	芸術 (デザイン)	4	<p>日本語のタイトルは、『アンジュール：ある犬の物語』となっておりますが、原題はフランス語で『Un jour, un chien』となっております。un jour は a day、un chien は a dog です。物語は、郊外らしい道路を疾走する車から、犬が投げ捨てられるシーンから始まります。投げ捨てられた犬は、全力で車を追いかけますが、遂に車は視界から消えてしまいます。紆余曲折があり、犬は田舎道のようなところで1人の子どもに出会い、そして物語は終わります。☒</p> <p>☒</p> <p>この絵本は、全体としてシンプルな構成であり、素描という色が無い筆跡がよくわかる技法で描かれています。そして、言葉はありません。色も言葉もないので、自然と目はその素描の筆跡に注目することになります。ガサガサとした筆跡で描かれたそれぞれのシーンの犬の態度やポーズを注意深く見ていくうちに、少しずつ犬の胸の内が理解できるような気がしてきます。☒</p> <p>☒</p> <p>状況としては、「ある一家が犬を捨てた」ということとなりますが、当の犬はこの状況をどのように捉えたのでしょうか。捨てられた、と思ったのかもしれませんが。追いかけてこの遊びだと思ったのかもしれませんが。単にびっくりしたり、寂しいと思ったのでしょうか。裏切られた、と思ったのでしょうか。詳しいことは何もわかりません。☒</p> <p>☒</p> <p>一方、最後に犬が出会う子どもは、興味、親愛、悲哀、驚きと様々な表情を見せます。犬もまた、物語の道中において、この子どものように様々な感情を抱いていたのではないかと想像する一コマです。☒</p> <p>☒</p> <p>作者であるガブリエル・バンサン Gabrielle Vincent は、この作品で、ある一匹の犬（原題によれば、一匹の犬のある1日となります）に光を当て、物語を描きました。私が何度かこの絵本を読み返して感じるのは、注意深く観察し、想像力を働かせさえすれば、日々の様々なイベントの連続に対して、様々な心の機微が沸き起こっていることを感じることができるのだ、ということです。そして、こうしたことを人に感じさせ、想像させ、考えさせるためには、丁寧な描写（伝える技術）こそが必要であり、語る言葉の多さはもしかすると、それほど重要ではないのかもしれませんが。☒</p> <p>☒</p> <p>この絵本は、相当な枚数の素描と毎日の観察に裏付けられた作品だと、私は想像します。どのような場面をどのような角度から描くか、ポーズはどうするか、シーンとシーンの間はどのような構成にするか。そうした作者の意図も想像しながら、この絵本を読んでほしいと思います。☒</p> <p>☒</p> <p>この絵本の原著は1982年に発行されました。（入学前知トラ（デザイン工芸）推薦図書）</p>	有り
21	コーヒーの科学	図書	旦部幸博	講談社	社会科学 / 社会科学	教員	藤江 竜太郎	芸術 (デザイン)	5	<p>☒</p> <p>☒</p> <p>（入学前知トラ（デザイン工芸）推薦図書）</p>	有り
22	コーヒーに憑かれた男たち	図書	嶋中労	中公文庫	その他 / その他	教員	藤江 竜太郎	芸術 (デザイン)	5	<p>☒</p> <p>（入学前知トラ（デザイン工芸）推薦図書）</p>	有り
23	コーヒーの鬼がゆく	図書	嶋中労	中公文庫	その他 / その他	教員	藤江 竜太郎	芸術 (デザイン)	5	<p>☒</p> <p>☒</p> <p>☒</p> <p>（入学前知トラ（デザイン工芸）推薦図書） ☒</p>	有り
24	コンビニコーヒーはなぜ高級ホテルより美味しいのか	図書	川島良彰	ポプラ新書	その他 / その他	教員	藤江 竜太郎	芸術 (デザイン)	5	<p>☒</p> <p>☒</p> <p>（入学前知トラ（デザイン工芸）推薦図書）</p>	有り
25	コーヒーの絵本	図書	作：庄野雄治 絵：平澤まりこ	mille books	その他 / その他	教員	藤江 竜太郎	芸術 (デザイン)	5	<p>☒</p> <p>☒</p> <p>（入学前知トラ（デザイン工芸）推薦図書）</p>	有り

26	コーヒーの基礎知識	図書	角謙二	株式会社 榎出版社	その他 / その他	教員	藤江 竜太郎	芸術 (デザイン)	4	美味しいコーヒーはどこが違う? ☒ コーヒーの基礎知識がここに全て集まったコーヒー入門バイブル。☒ 興味を持った人、まずはこの一冊から。☒ ☒ (入学前知トラ (デザイン工芸) 推薦図書)	なし
27	終わりと始まり	図書	ヴィスワヴァ・ シンボルスカ	未知谷	文学 / 文学	教員	倉内 啓	芸術 (デザイン)	5	昔から池澤夏樹さんの小説が好きで、ほとんどの作品を楽しく読ませて頂いている。彼の紡ぎ出す“言葉”から多くの イマジネーションを得る事ができる。そんな池澤さんが月に一度、朝日新聞に掲載しているコラム『終わりと始まり』 も楽しみのひとつとなった。2011年4月5日付けの新聞のコラムの表題はポーランドの女性詩人ヴィスワヴァ・シン ボルスカの詩から借りた言葉であると言う話から始まる。我々、日本人が決して忘れてはいけない東日本大震災 後、初めて寄稿されたコラムである。涙の後に大きな力が与えられた。コラムの終わりは、シンボルスカの詩「また やって来たからといって / 春を恨んだりしない / 例年のように自分の義務を / 果たしているからといって / 春を責め たりしない」・・・で締めくくられている。☒ ☒ (入学前知トラ (デザイン工芸))	有り
28	スティル・ライフ	図書	池澤夏樹	中央公論 社	文学 / 文学	教員	倉内 啓	芸術 (デザイン)	5	どちらかという小説が好きで、学生時代にハマったデビューしたての村上春樹、芥川賞を受賞して初めて知った 高校同級生の小川洋子、沖縄移住を機に読み始めた池澤夏樹。特にこの3人の作家の作品はほとんど、今でも愛読し ている。池澤夏樹の書く文章は美しく、質のいい抒情性をもつ。表現者の一人として、大いに刺激される作家であ り、紡ぎ出す「言葉」は私自身の作品の画題のヒントにもなっている。☒ 今回の『スティルライフ』は、短編のフランス映画の様でもあるのだが、哲学的でありながら、詩的で言葉による描 写力に脱帽させられる。私は、冒頭の「大事なものは、…………、一步の距離を置いて並び立つ二つの世界の呼応と調和 をはかることだ。たとえば、星を見るとかして。」に魅了され、そして物語の中ほどの“雪”の描写にやられてしまっ た。☒ 余談ではあるが、そんな池澤さんも、著書『母なる自然のおっぱい』のインパクトのあるタイトルを決めるときの経 緯を、文庫版のあとがきに「言葉については詩人の知恵を盗むにかぎる。」と、ネタを明かしている。☒ ☒ (入学前知トラ (デザイン工芸)) ☒	有り
29	すべてのドアは、入り口である。 : 現代アートに親しむための6つのアクセス	図書	原田マハ, 高橋 瑞木著	祥伝社	芸術, 美術 / 芸術, 美術	教員	古堅 太郎	芸術 (デザイン)	5	直木賞候補作家の原田マハさんとキュレーターの高橋瑞木さんが現代美術に対する疑問に対話形式で答えてくれま す。後半は具体的な作家や作品を挙げながら詳しい解説もあり、現代美術に対する入門書として最適な一冊です。☒ (入学前知トラ (デザイン工芸) 推薦)	有り